



アドビ、クラウドでのイノベーションにより 2013 年度第 4 四半期および通年で好調な業績を達成

Creative Cloud のサブスクリプション件数が 140 万件を超え、Adobe Marketing Cloud の 2013 年度の収益は 10 億ドルを超える

※ 米国本社発表の業績プレスリリースは[こちら](#)をご覧ください

【2013 年 12 月 13 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2013 年 12 月 12 日）Adobe（Nasdaq：ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、2013 年度第 4 四半期（2013 年 8 月 31 日から 2013 年 11 月 29 日）および通年（2012 年 12 月 1 日から 2013 年 11 月 29 日）の決算を発表しました。アドビはまた 2014 年度の見通しと共に、主要な事業分野の長期成長目標も発表しました。

第 4 四半期の業績ハイライト

- ・ 収益は 10 億 4,000 万ドルで、10 億～10 億 5,000 万ドルの目標を達成。
- ・ 当四半期末の有料の Creative Cloud のサブスクリプション件数は 1,439,000 件で第 3 四半期末から 402,000 件増、企業による Creative Cloud 導入が予想を上回る伸び。
- ・ クリエイティブ分野の年間の経常収益 (Annualized Recurring Revenue - ARR) は 7 億 6,800 万ドルに拡大し、デジタルメディア全体の ARR は 9 億 1,100 万ドルに拡大。
- ・ 当四半期の Adobe Marketing Cloud の収益は、前年同期比 38% 増の 3 億 1,620 万ドルを達成。
- ・ GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益 (EPS) は、0.13 ドル。Non-GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益 (EPS) は、0.32 ドル。
- ・ 営業キャッシュフローは 3 億 1,500 万ドル。
- ・ 繰延収益は、9,470 万ドル増で過去最高の 8 億 2,880 万ドル。
- ・ 当四半期中に 790 万株を買い戻し、約 4 億 500 万ドルの現金を株主に還元。

2013 年度の業績ハイライト

- ・ 通年の収益は 40 億 6,000 万ドル、営業キャッシュフローは 11 億 5,000 万ドル。
- ・ Creative Cloud のサブスクリプションは 110 万件増、Document Services のサブスクリプションは倍増して 160 万件を超える。また通年のデジタルメディアの ARR は 7 億ドルを超える増加。
- ・ Adobe Marketing Cloud の収益は、通年の収益として過去最高の 10 億 2,000 万ドルで、前年比成長率は 26%。
- ・ 当年度中に 2,160 万株の株式を買い戻し、約 10 億ドルの現金を株主に還元。
- ・ 2013 年度のその他の財務指標は [Adobe By The Numbers FY2013](#) インフォグラフィックにて開示。

役員のコメント

アドビの社長兼 CEO（最高経営責任者）であるシャントヌ ナラヤン（Shantanu Narayan）は、「アドビは業界をリードするクラウド製品により、新たなクリエイティブとデジタルマーケティングの分野を築きました。Creative Cloud と Adobe Marketing Cloud は紛れもなく業界のリーダーであり、今後の成長を加速させるため、準備を整えています」と述べています。

アドビのエグゼクティブバイスプレジデント兼 CFO であるマーク ギャレット（Mark Garrett）は、「アドビはクラウドへのビジネス移行を通じてソフトウェア産業のリーダーとなっており、これは収益拡大と共に経常収益の増大にも貢献しています。長期的な収益成長目標を引き上げ、2014 年度から 2016 年度までの年複利成長率を 20% に設定しました」と述べています。

多年度にわたる業績見通しの一環として成長目標を提示

アドビは 2014 年度第 1 四半期の収益目標を 9 億 5,000 万ドル～10 億ドルに設定しました。希薄化後 1 株当たり利益 (EPS) の目標値は GAAP ベースで 0.02 ～ 0.08 ドル、Non-GAAP ベースで 0.22 ～ 0.28 ドルに設定しています。発行済み株式数は 5 億 1,100 万～5 億 1,300 万株、営業外費用は 1,800 万～2,000 万ドルと見込んでいます。税率は GAAP ベース約 26%、Non-GAAP ベースで約 21%の見込みです。

2014 年度通年の総収益は 2013 年度からほぼ横ばいの見込みです。希薄化後 1 株当たり利益 (EPS) の目標値は GAAP ベースで約 0.27 ドル、Non-GAAP ベースで約 1.10 ドルに設定しています。

アドビは長期収益成長率について新しい目標値を発表しました。2014 年度から 2016 年度までの年複利成長率 (Compound Annual Growth Rate - CAGR) 20% を達成する見込みです。この目標達成のため、この期間内のデジタルメディア事業の目標 CAGR は 20%、Adobe Marketing Cloud の目標 CAGR は 25% に設定されています。この成長の一環として、Non-GAAP ベースの 1 株当たり利益が 2015 年度には約 2.00 ドル、2016 年度には少なくとも 3.00 ドルに達する見込みです。

将来的観測の開示について

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包した、サブスクリプション方式への移行に伴う当社事業の移行、Adobe Creative Cloud の普及、年換算の繰返発生収益、Adobe Marketing Cloud の収益、および長期的な収益の増加に関連する将来的観測を含みます。実際の業績を異ならせ得る原因としては、以下が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・ 顧客の要求に応える製品およびサービスの開発、市場投入、流通の失敗
- ・ 競合他社による新製品およびビジネスモデルの市場投入
- ・ クラウドおよびサブスクリプション戦略への取り組み強化を含め、新たなビジネスモデルや新たな市場への移行の失敗
- ・ サブスクリプションサービスの更新状況やアップグレード比率の変動
- ・ 経済状況および金融市場の不確実性
- ・ サイバー攻撃と情報セキュリティに関連するリスク
- ・ 新規事業による収益およびビジネスモデルの変更による業績への潜在的影響を予測することの難しさ

- ・ 過去および将来の買収において見込まれた利益達成の失敗

これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説に関しては、2012年度のアドビの年次報告書（Form 10-K）ならびに2013年度に発行されたアドビの四半期報告書（Form 10-Q）をご参照ください。

プレスリリースに記載された財務情報は現時点で得られる情報に基づく推定を反映したものです。これらの金額は、アドビ システムズ社が2013年度（2012年9月1日から2013年11月29日）について2013年1月に提出予定の年次報告書（Form 10-K）に記載される実際の業績数値とは異なる場合があります。

アドビはこれら将来的観測を更新する義務を負うものではありません。

アドビ システムズ社について

アドビは、世界を動かすデジタル体験を提供します。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。

Adobe, the Adobe logo, Creative Cloud and Adobe Marketing Cloud are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated, in the United States and/or other countries.

© 2013 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. All other trademarks are the property of their respective owners.